資料３－１

福岡県森林審議会

Ⅰ．森林計画制度

１．概要
２．森林・林業基本計画
３．全国森林計画
４．本県の森林計画区

Ⅱ．諮問案件

１．諮問
２．策定･変更の主な内容
３．福岡地域森林計画
(1) 概況
(2) 計画事項
1) 対象とする森林の区域
2) 計画量
3) 森林の整備に関する事項
4) 森林の保全に関する事項
４．遠賀川地域森林計画
(1) 変更の主な内容
(2) 全国森林計画の変更内容と変更に伴う計画量の変更

Ⅲ．公告･縦覧

令和6年11月22日
吉塚合同庁舎Y603A会議室

Ⅰ．森林計画制度　１．概要

森林計画制度の目的
森林の有する多面的機能の持続的な発揮、林業の持続的かつ健全な発展に向け、長期的な視点に立ち、計画的かつ適切な森林の取り扱いを推進。

森林計画制度の体系

森林･林業基本法 → 森林･林業基本計画（政府）

森林法 → 全国森林計画（農林水産大臣）15年

民有林（即して）国有林

地域森林計画（都道府県知事）10年
- 計画の対象とする森林の区域
- 森林の整備･保全に関する事項
- 計画量

地域別の森林計画（森林管理局長）10年

市町村森林整備計画（市町村）　10年

森林経営計画（森林所有者等）　５年

森林･林業基本法
○基本理念
･森林の有する多面的機能の発揮
･森林の持続的健全な発展

森林法
○目的
･森林の保続培養
･国土保全と国民経済の発展

Ⅰ. 森林計画制度　２. 森林・林業基本計画

福岡県森林審議会

・森林を適正に管理し、林業・木材産業の持続性を高めながら成長発展させることで、2050カーボンニュートラルも見すえた豊かな社会を実現するため、令和３年６月に変更。

５つの方向性

①森林資源の適正な管理・利用

②「新しい林業」に向けた取組の展開

③木材産業の競争力の強化

④都市等における「第２の森林」づくり

⑤新たな山村価値の創造

Ⅰ. 森林計画制度　３. 全国森林計画

福岡県森林審議会

・森林・林業基本計画の変更（令和３年６月）以降に生じた情勢の変化や新たな施策の導入を踏まえて、全国森林計画を令和５年10月に閣議決定

１　追加された主な取組み

〇花粉発生源対策の加速化
〇木材合法性確認の取組強化
〇盛土等の安全対策の適切な実施

２　計画量の増減

〇主伐伐採材積：前計画から約4割増
〇間伐伐採材積：前計画から約2割減
〇人工造林面積：前計画から約4割増

３　計画期間

令和6年4月1日
～令和21年3月31日

R5一斉変更

４　各地域森林計画区域

福　岡：変更
遠賀川：変更
筑後・矢部川：策定

Ⅰ. 森林計画制度　４. 本県の森林計画区

福岡県森林審議会

・本県は３つの森林計画区からなり、５年毎に１０年の計画を策定。
・令和５年度に、県内全ての地域森林計画を策定･変更。
・令和６年度は、福岡計画区を策定及び遠賀川計画区を変更。

R5年10月：全国森林計画の策定

計画区の樹立の年	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8
筑後･矢部川	策定			変更		策定			
福岡		策定		変更		変更	策定		
遠賀川				策定		変更	変更		策定

Ⅱ. 諮問案件　１. 諮問

福岡県森林審議会

森林法（昭和26年法律第249号）第6条第3項の規定により、下記の案件を諮問するもの。

記

１　森林法第5条第１項に基づく地域森林計画の案及び同第５項の規定に基づく地域森林変更計画の案について

（1）　福岡地域森林計画（案）

（2）　遠賀川地域森林計画 変更計画（案）

１　福岡地域森林計画（案）

(1) 森林法に基づく５年に一度の計画策定

(2) 計画量は、令和５年の全国森林計画変更時の計画量を引き継ぐ

(3) 森林の整備に関する事項

・間伐及び保育に関する事項

「若齢級の初回間伐については列状間伐の導入に努めるものとする」の文言を追記

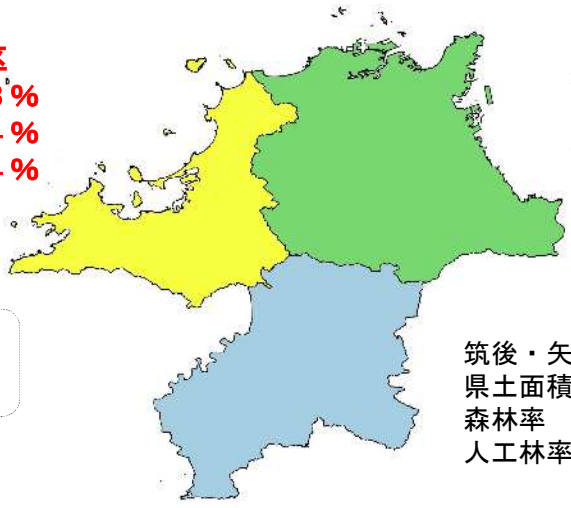
２　遠賀川地域森林計画 変更計画（案）

(1) １(3)に同じ

(2) 林道計画の一部変更

(1) 概況

・県の県中央部から南部に位置し、10市7町からなる地域。
・森林率は44%、人工林率64%で県全体とほぼ同じ。



福岡森林計画区
県土面積の２３％
森林率　４４％
人工林率　６４％

遠賀川森林計画区
県土面積の４３％
森林率　４９％
人工林率　５７％

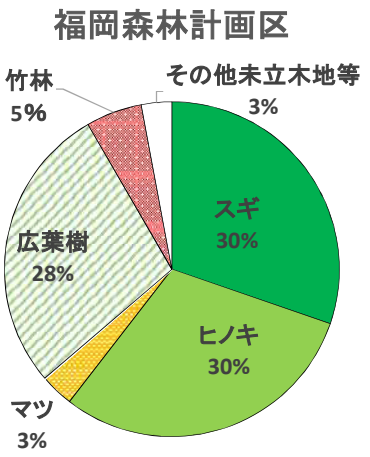
県全体
森林率　４５％
人工林率　６４％

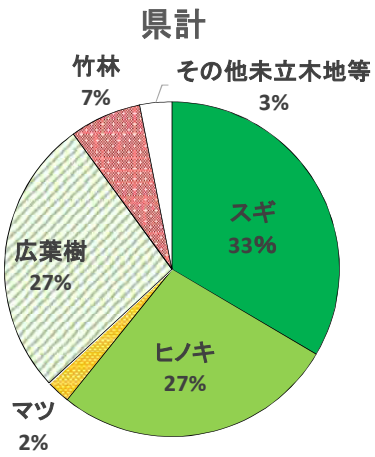
筑後・矢部川森林計画
県土面積の３３％
森林率　４１％
人工林率　７５％

Ⅱ. 諮問案件　3. 福岡地域森林計画

(1) 概況

・樹種別の面積割合は、スギ30%、ヒノキ30%、広葉樹28%。



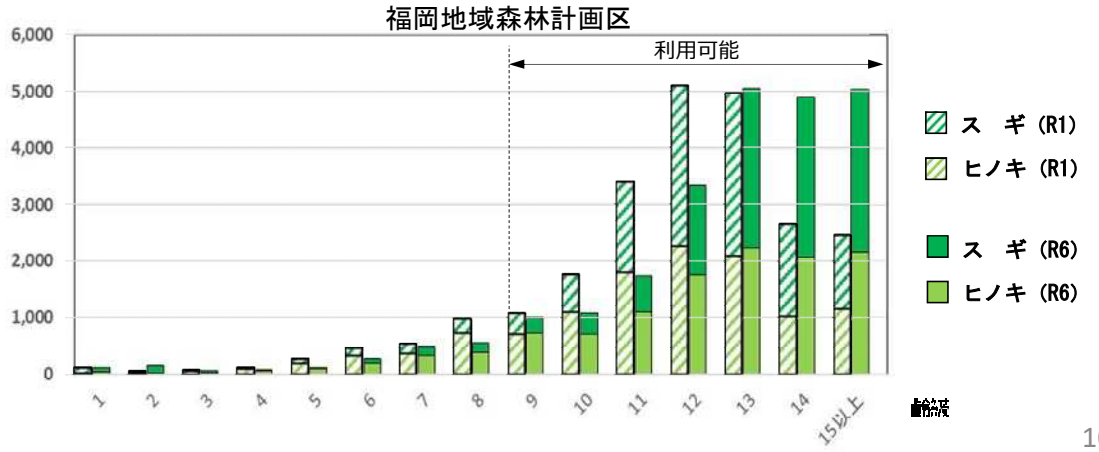


Ⅱ. 諮問案件　3. 福岡地域森林計画

(1) 概況

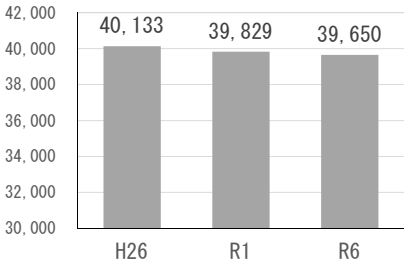
・スギ、ヒノキの齢級別面積を見ると、本格的に利用可能な齢級の面積や材積が増え、森林資源が充実。

スギ･ヒノキ人工林の齢級別面積（ha）

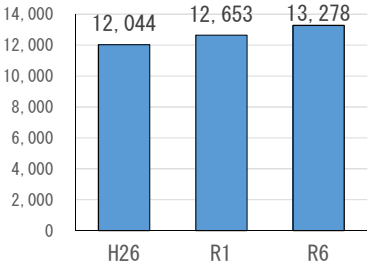


(2) 計画事項　1) 対象とする森林の区域

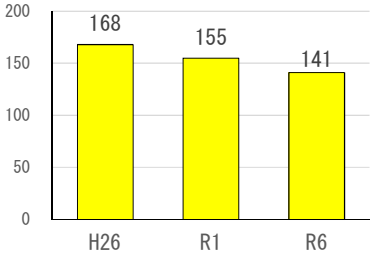
・区域は39,650haでこの10年間で若干減少。
・材積は1,327万8千㎥で増加傾向、成長量は14万1千㎥。



対象面積の推移（ha）



材積の推移（千㎥）



成長量の推移（千㎥）

(2) 計画事項　2) 計画量

・下記の具体的な内容について、過去10年間の事業実績、森林の最新の状況、今後の目標を勘案し、各計画量を決定。

【具体的な内容】

① 伐採立木材積

② 造林面積

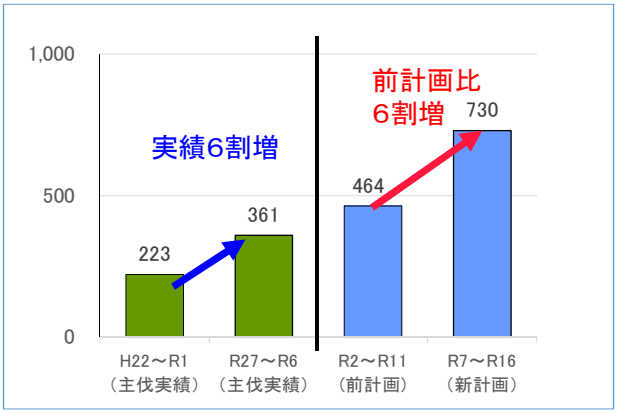
③ 林道の開設

④ 保安林の指定

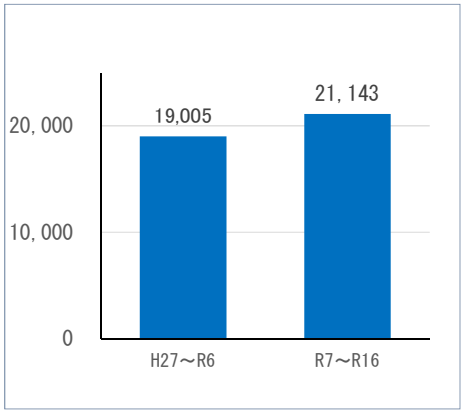
⑤ 治山事業

(2) 計画事項　2) 計画量

① 伐採立木材積（主伐）
主伐は、過去10年の実績、対象となる森林の増加、花粉症発生源対策の加速化を踏まえ、前計画比 ６割増となる73万㎥を計画。



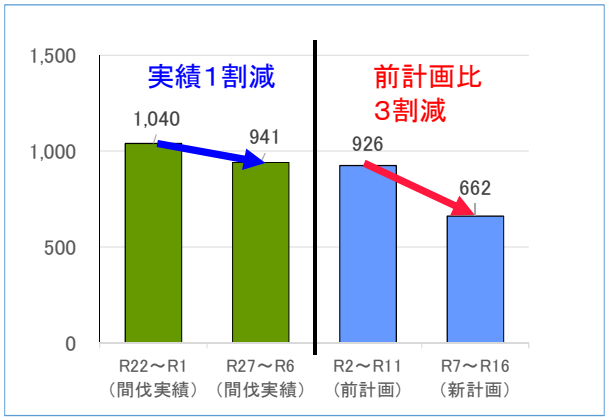
主伐の計画と実績の推移（千㎥）



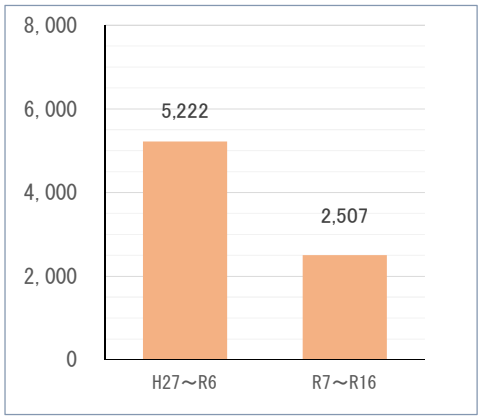
１０齢級以上のスギ・ヒノキの面積の推移（ha）

(2) 計画事項　2) 計画量

① 伐採立木材積（間伐）
間伐は、対象となる森林の減少から、前計画比３割減となる66万2千㎥を計画。



間伐の計画と実績の推移（千㎥）



４～９齢級のスギ・ヒノキの間伐対象面積の推移（ha）

(2) 計画事項　2) 計画量

② 造林面積（人工＋天然）
主伐の計画量の増加に伴い、人工造林は前計画比３割増となる1,673ha 、天然更新は１割減となる383haを計画。

人工造林

天然更新

(2) 計画事項　2) 計画量

③ 林道の開設又は拡張に関する計画
○開設：　７路線　１９．４km
○改良：２２路線　１７．６km
○舗装：　８路線　　６．６km

林道の開設

既設林道の舗装

木材生産･森林整備の基盤

既設林道の改良（法面）

(2) 計画事項　2) 計画量

④ 保安林の指定
　森林の持つ多面的機能の持続的な発揮による県土保全を目的に、今後も適切な指定を推進することとし、前計画比98%の13,580 haを計画。

水源かん養保安林

防風保安林

(2) 計画事項　2) 計画量

⑤ 治山事業
　谷止工や法枠工などを施工する地区を119地区計画。

谷止工

山腹工

流路工

(1) 変更の主な内容

遠賀川地域森林計画 変更計画（案）
R4.4.1～R14.3.31

【変更の主な内容】

計画事項

○森林の整備に関する事項：間伐及び保育に関する事項
- 「若齢級の初回間伐については列状間伐の導入に努めるものとする」を追記

○計画量等：林道拡張（改良）に関する計画の変更
- 苅田町　林道青竜線

(2) 林道拡張（改良）に関する計画の変更

苅田町 林道青竜線	計画時期	(現行計画時期	R９～R13)
		変更計画時期	R４～R８
	延　長	(現行計画量	1,672m)
		変更計画量	1,672m

Ⅲ. 公告縦覧

森林法の規定	森林法第６条第１項
公 告 日	令和６年10月18日
地域森林計画案	福岡地域森林計画案、遠賀川地域森林計画変更計画案
策定、変更の別	策定及び変更
福 岡 県 公 報	第540号
縦 覧 期 間	令和６年10月18日～令和６年11月18日
縦 覧 場 所	県庁農山漁村振興課